

2011 年

3 月 13 日（日曜日） 武田すすむ先生の「瑞宝小綬章」叙勲受賞へのメッセージ

まずは、3 月 11 日、東北地方太平洋沖の巨大地震が発生をし、その後の長野を含む一連の地震によってお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆さんへのお見舞いと、安否不明の皆さんの安全確認、被害の最小化、速やかな復興を心からお祈り申し上げます。

武田すすむ先生は、京都府教育長（平成 13 年～平成 17 年）としての多大なご功績はもとより、学校現場、教育委員会のご職務を通じ、「生徒の意欲や希望」を大切に、生徒を中心に置かれた、生徒の立場に立った教育に一貫してこられたようにお受けしますし、何より「生徒とともに生徒の夢を育てる」教育に尽くされたのだと感じております。

象徴的には、甲子園。自ら 3 番サードの花形として高校時代（峰山高校）を努力されてから、監督時代（東宇治高校。甲子園目前で惜敗）を経て、苦節 40 年、校長先生（鳥羽高校）として甲子園大会に連続出場されました。夢の実現に向けて一歩ずつ、苦楽を糧に、ドラマと見紛（みまがう）ごとくに夢への階段を登っていかれました。

そして、甲子園に限らずいろんなことで、生徒とともに生徒の夢を大切に夢を育てこられました。そんな訳ですから、ふるさと京丹後の地元の皆さんをはじめ多くの生徒、お仲間、ご後輩、友人の皆さんに慕われ、そんな皆さんとともに、信頼と喜び合いの絆を大きく育てこられたのだと思います。今後は、ますます、「ふるさととの絆」を大いに育てていただいて、ご健勝にてますますご活躍いただけますよう心からの祝意と感謝とともにご祈念と確信を申し上げます。